

潤滑管理 基本コース

本講座受講後の
到達目標

潤滑管理の正しい知識、原理・原則や特性を知り、実務に
応用する力を身につける
自職場の日常管理業務に活かす

【対象】 設計・生産技術の若手技術者／潤滑管理・設備保全の実務担当者

【東京開催】 2017年12月15日(金)
(公社)日本プラントメンテナンス協会 研修室
(東京都千代田区神田神保町 3-3)

【名古屋開催】 2018年2月16日(金)
名古屋大同生命ビル2階 会議室
(名古屋市中村区名駅 4-23-13)

【時 間】 9:30～17:00

【定 員】 最大 25 名

【講 師】 RMFジャパン株式会社 久藤 樹
(元出光興産株式会社 TMMS 担当マネジャー)

講師プロフィール

久藤 樹 (元出光興産株式会社 現 RMFジャパン株式会社)

1972年 出光興産(株)に入社
1973年 同社 営業研究所 鉱業潤滑研究室配属となり、工業用潤滑油の開発と評価の業務を担当(工作機械用潤滑油と切削油)
1979年 同社 広島支店潤滑油配属となり、セールスエンジニアとして潤滑油の販売と技術指導(適油選定、潤滑管理)
2002年 同社 TMMS推進センター配属となり、潤滑管理機器の開発・評価、潤滑管理のコンサル業務を実施 この間、グループリーダーとなる
2012年 出光興産退職
株KTCを設立(潤滑管理のコンサル活動開始)
RMFジャパンの潤滑技術顧問就任
ISO状態監視技術者訓練講師(日本プラントメンテナンス協会)現在に至る。

資格 技術士(総合管理部門、機械部門)
機械状態監視技術者(振動Cat.Ⅲ、トライボロジ-Cat.Ⅲ)
著書 「絵解き工業用潤滑剤の基礎のきそ」(日刊工業新聞社)

プログラムの
特徴

1. 潤滑管理を実践するために必要なことを基礎から学べる。
2. 理論だけではなく、実例を基にした内容なのですぐに現場に活用できる。

プログラム

実習機材

1. 保全と潤滑管理

(1) 潤滑管理の目的

2. 潤滑の3要素 (どこにどんな油をどのように供給するのか)

- (1) 摩擦と潤滑
- (2) 潤滑剤の種類と選定
- (3) 潤滑油の劣化と使用限界
- (4) 油の性状と分析結果の見方

3. 潤滑システム・油圧システムと潤滑の選定

- (1) 工作機械の潤滑油の選定
- (2) 油圧装置と作動油の選定
 - ・油圧トラブルを低減する作動油の清浄度管理の進め方
 - ・消費電力を低減する省エネ作動油とは
- (3) 歯車潤滑システムと油の選定

4. 潤滑油の正しい使い方

- (1) 正しい潤滑剤の保管方法
- (2) 現場の実態と目で見る管理
- (3) モータ軸受への正しいグリースアップとは

5. 事例紹介

現場に戻って活動するためにすぐに役立つ
現場管理機器として3つ紹介します!



鉄粉濃度計



油中微粒子計



紫外線ランプ(油漏れ診断)



公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会

Japan Institute of Plant Maintenance

